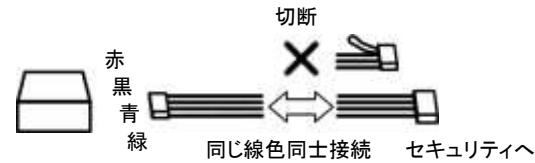


【重要】

- ・車両の盗難・破損等や誤配線による車両や本製品の破損につきましては、一切責を負えませんのでご了承下さい。
- ・各センサーは防水処理はしていませんので、必ず車内に設置していただき、水濡れに注意して下さい。
- ・必ず感度調整を行って下さい。調整を行わなかった場合、誤作動の原因となります。

■ 配線方法 (専用品のセキュリティは、当社で配線済み)

1. センサーに付属している4ピンのハーネスの緑線がループしている方のコネクタを切断します。
2. 当社セキュリティのセンサーハーネスに同色の線同士を接続します。センサーが複数ある場合は、それぞれ同色の線を並列に接続します。
3. センサーとセキュリティにそれぞれコネクタを接続します。



【参考】  
 ・センサーを個別で〇にしたい場合は、赤線の途中にスイッチを入れて下さい。

■ 設置方法例

- ・車両の太いハーネスにインシュロック等で固定
- ・車両のフレームに両面テープで固定

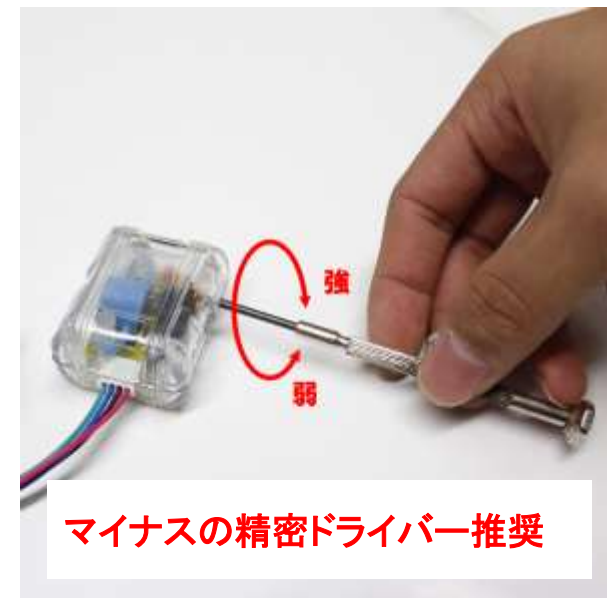
【参考】  
 ・適切な位置は車両によって異なります。



■ 感度調整方法

1. 車両のピラーやタイヤに衝撃を与え、警告・警報が鳴るかを確認して下さい。
2. 感度が弱い(強い)場合は、右の写真のようにドライバーで側面の橙色ボリュームを回して調整して下さい。

【注意】  
 ・ボリュームは弱い力で少しずつ回して下さい。  
 ・センサーは、一度衝撃を検知すると、その衝撃が収まってからしばらくしないと再検知しません。5秒程度間隔を開けながら確認して下さい。  
 ・感度を強くすぎると、逆に反応しにくくなります。適切な感度に調整して下さい。



マイナスの精密ドライバー推奨

■ トラブルシューティング

- ・センサーに直接衝撃を与えても、センサー内部のLEDも点灯しない。
  - 赤線・黒線の結線不良
- ・強い衝撃を与えても警告しか鳴らない。
  - 青線の結線不良または感度が弱い
- ・警告の音が鳴らずに、警報になってしまう。
  - 緑線の結線不良または感度が強い